

施策評価シート

施策番号【7-1】

評価年度	令和6年度	事業実施年度	令和5年度	施策主管次長名	小野田 浩 司		
施策番号	7-1	施策名	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり			総合計画掲載頁	154～155
主担当部名	総務部						
関連課名	協働推進課						

1 総合計画の目標指標

PLAN & GOAL（中間値と最終目標値の確認）

取組分野1		市民の参画と協働によるまちづくり		R5	R10
指標名	市民活動サポートセンター登録団体数			中間値	目標値
指標の定義	市民活動サポートセンターを利用するための登録をしている団体数			60団体	65団体
取組分野2				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野3				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野4				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野5				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					

2 成果指標

DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1 市民の参画と協働によるまちづくり							
	成果指標名	NPO・協働に関する相談件数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			件	38	37	54	38	31
			指標設定の考え方	市民との協働を推進するため、NPO活動や協働に関することなど、市民や団体などからの相談を受ける窓口を設置する。				
	対象	市民・団体	把握方法	相談窓口及び協働推進課へのNPO・協働に関する相談件数				

指標②	取組分野1 市民の参画と協働によるまちづくり							
	成果指標名	協働に関する職員研修への参加者数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			人	27	31	30	28	33
			指標設定の考え方	協働に関する職員の理解を深め、協働の実践につなげるため、市役所の職員を対象として研修を開催する。				
	対象	市職員	把握方法	職員研修への参加者数				

指標③								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

指標④								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

指標⑤								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK（分析・評価）

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・行政区及び地区コミュニティ推進協議会の自主性、主体性を一層高めるため、それぞれの実情や特性に合った一括交付金を支出している。 ・地域課題を解決するために行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体などが行う自発的な公益活動に対し、「がんばる地域応援補助金」による支援を行っている。なお、地域を限定しない団体や小規模な団体の公益活動を支援するため、令和3年度から新たに行政区などの同意がない団体についても補助対象に加えている。 ・協働のパートナーを育成するため、「NPO・協働相談窓口」を設置し、市民活動の活性化や行政との協働を推進している。 ・公益活動を行う市民団体などへの支援を目的として、市民活動サポートセンターを開設している。	
	成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民 ・まちづくりの主役であることを自覚し、地域政策の立案などに積極的に参画し、自らの発言や行動に責任を持ていただく。 行政 ・行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体など、主体的・自発的にまちづくりに取り組む公益活動を行う団体等への支援を行い、協働のパートナーとしての育成に努める。
近隣市町との比較	・近隣市町において、市民参画によるまちづくりにつながる行政区やコミュニティ地区への支援をしていない自治体はない。 ・指標①②については、人口規模が違うため比較が難しい。 ・NPO法人の数(R6.6.1現在)は、みよし市(10)、豊田市(70)、岡崎市(81)、刈谷市(28)、安城市(38)、日進市(30)、豊明市(17)、長久手市(25)である。	

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
令和4年度以前の活動	・協働事業支援実施業務として、庁内各課へヒアリングした内容を検討し協働モデル事業として事業を採択した。 ・がんばる地域応援補助金の申請団体数 R3:2団体 （参考）H28:4団体、H29:2団体、H30:2団体、R1:2団体、R2:6団体、R3:2団体、R4:5団体 ・がんばる地域応援補助金の採択団体数 R3:2団体 （参考）H28:4団体、H29:1団体、H30:2団体、R1:1団体、R2:6団体、R3:2団体、R4:4団体 ・市民活動センター登録団体数(R4末:53団体)
令和5年度の活動内容	・教育委員会が進めるコミュニティスクール(学校運営協議会)を協働事業支援実施業務として、モデル校である三好中学校への支援を実施した。 ・がんばる地域応援補助金制度について、令和5年度からの事業開始分からは採択申込前に関係所管課とのヒアリングを実施し、令和6年度からの事業開始分からは関係所管課とのヒアリングの内容を申込書に記入してもらうなど、事業の継続性の担保の向上に努めた。 ・がんばる地域応援補助金の申請団体数(R5:1団体) ・がんばる地域応援補助金の採択団体数(R5:1団体) ・市民活動センター登録団体数(R5末:64団体)
積み残し課題等	・新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった行政区や地区コミュニティ活動について、新型コロナウイルス感染症の影響前の水準での実施に戻すための支援が必要となる。 ・がんばる地域応援補助金の活用による、多くの市民活動団体の公益活動の支援を進めながら、補助終了後の事業継続に対する対策について検討する必要がある。 ・市民活動センター登録団体については、毎年度更新のため、年度当初から年度末に向けて登録団体が増えていく傾向にあるが、ここ数年は同程度で推移してきているため、登録団体を増やすことが必要であると考える。 ・行政区や地区コミュニティ推進協議会などが行う様々な地域活動を推進する上では、NPO法人や市民活動団体との協働により活動することも必要である。 ・市民参画による協働によるまちづくりの推進に必要なコーディネーターの役割を果たす人材の育成が必要である。

4 活動計画

ACTION & PLAN（目標を達成するために起こす行動）

令和6年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・がんばる地域応援補助金制度について、市民活動団体のさらなる補助制度活用を促し、市民活動団体の活性化を図っていく。 ・市民活動センター登録団体数の増加に努め、市民活動団体の活性化を図っていく。 ・行政区や地区コミュニティ推進協議会などと、課題解決に向け協働で活動を行う適切な団体とを結びつける役割を担う人材の育成を図る。
施策目標達成に向けての令和6年度の活動内容	・補助事業の採択については、活動内容に関連する市所管課とのヒアリングをはじめとする十分な準備を行うとともに、採択後の補助事業については、事業報告会などを通じ進行管理を行うことで、補助事業の継続性の担保と更なる補助制度の改善を図っていく。 ・市民活動センター登録団体の増加に向けて、登録団体の意見を聞きながら登録することへのメリットの充実に努める。 ・まちづくりワークショップや地域との協働による施策の推進を図ることができる若手職員の育成を図るスキルアップ研修を実施する。